

第5回 北灘地区地域座談会報告

日時	平成29年10月18日(水) 19:00～21:00		
テーマ	地域コミュニティ ～見守り活動で孤立をなくそう 移動手段 ～買い物・外出の支え合いづくり～		
会場	北灘公民館	参加者数	23名
<p>今回の座談会は、全体を2つにわけ「見守り活動で孤立をなくそう」と「買い物・外出の支え合いづくり」の2つのテーマについて意見交換を行っていただきました。</p> <p>「見守り活動で孤立をなくそう」について意見交換を行っていただいたグループでは、「今地域の人が集まる場所で開催している、神社や仏閣・学校でのサークル活動をこれからも続けて、見守り活動に繋げる」「挨拶や声かけ、ひと声運動をする」「新聞屋さんと協力して新聞がたまっていたら市に連絡してもらおう」「1キロ圏内の地図、緊急連絡先を作り、地域の皆で協力する」などの意見がだされました。</p> <p>また、「買い物・外出支援の支え合いづくり」については、「コミュニティバスやタクシーを作る(国道から奥に2～3キロの民家まで入ってきてもらう)」「車に乗れる人に便乗する」「移動販売(とくし丸、生協、ローソン)を活用する」などの意見が出されました。</p> <p>こうした活動を展開する事により、北灘地区に「住み続けたい・良くしたい」という想いを共有できた座談会となりました。</p> <p>お忙しい中、参加して頂いた地域の皆様、本当にありがとうございました</p>			



第4回 北灘地区地域座談会報告

日時	平成29年9月13日(水) 19:00～21:00		
テーマ	北灘地区の地域コミュニティづくり ～若い世代の地域への参加～		
会場	北灘公民館	参加者数	17名
<p>今回は、第1回から第3回までの座談会で話し合った、北灘地区の魅力や資源、地域の課題の分析結果を確認した上で、今後の課題解決のための方法を参加者で意見交換しました。</p> <p>若い世代の地域参加により、北灘地区の地域コミュニティを活性化するためにこれから地域で取り組む活動としては、①交流の場やイベントの開催「いろんな世代が参加できる交流の場(囲碁・将棋クラブなど)を作る」「地域ぐるみで子育て支援の場をつくる」「若い世代が魅力を感じるイベント(サマーフェスティバル、スポーツ大会など)を開催する」②周知方法の工夫「地域の活動・行事をSNSで発信する」「学校と協力して、地域・行事への参加を促す」③北灘の魅力である歴史や文化、自然・生活環境や名産の活用「祭りや神事を復活させる」「地域の名産の商品化を拡大し、若い人の働く場を作る」「空き家を利用してIターンを募る」「国道11号線を走る人達が立ち寄れる場所を作る」などの様々な意見が出されました。</p> <p>世代を超えた集いの場所づくりや、若者のアイデアを地域ぐるみで実現していくことによって、高齢化の進む北灘地区が、住民主体で若い世代と共に魅力ある街、暮らしやすい街を作っていく必要があります、そのために活動していくべきことを、参加くださった皆さんで共有することができました。</p>			
  			

第3回 北灘地区地域座談会報告

日時	平成29年6月28日(水) 19:00 ~ 20:45		
テーマ	北灘地区の課題抽出 ~困りごとから解決への役割を考えよう!~		
会場	北灘公民館	参加者数	26名
<p>第3回を迎えた地域座談会では、初めての参加の方も含め、26名というたくさんの方が参加くださり、6グループに分かれてのグループワークを行いました。</p> <p>北灘地区における生活課題の抽出においては、「交通機関が少なく移動に困る」「車が乗れなくなったら生活できるのか不安」「病院もないし、老人ホームも店もない」といった声や、過疎化や高齢化、空き家の問題、鳥獣被害や不法投棄など、多岐にわたって意見が飛び交いました。また、抽出された課題の分析では、すべての課題を行政に頼るのではなく、町内・地域住民でできることは何か、社会福祉協議会が担うべきことは何か、複数の機関が共に取り組むことは何かなど、それぞれの役割を押しえた上で、自分たちでできることに視点を当てた意見も出ました。地域座談会も中盤にさしかかり、地域福祉に対する住民の方々の意識の高さを感じる、有意義な会となりました。</p>			
  			

第2回 北灘地区地域座談会報告

日時	平成29年4月25日(火) 19:00 ~ 20:40		
テーマ	福祉資源マップづくり ~北灘地区の福祉資源を掘り起こす!~		
会場	北灘公民館	参加者数	16名
<p>当日は、日本赤十字社徳島県支部創立130周年記念研修と重なりましたが、30歳代から80歳代の幅広い年齢層の方がご参加下さいました。グループワークでは、生活必需品を手に入れる店やスーパーがない、病院や福祉施設がない、学校は統廃合、金融機関もないなど、初めは無いものだらけの意見が飛び交っていましたが、次第に、老人クラブや自治振興会・婦人会の活動や、寺や神社を中心とした深い人の繋がり、また新たにカフェ・さかな市などの飲食店ができ、交流を通じた心の充実が図れる場所があるなど、人的資源を確認することができました。</p> <p>さらには、折野の「柴折の滝^{しおり}」や櫛木の「猿・猟師の墓」、「十二社巡りのマップづくり」などの紹介もありました。最後に徳島大学柳沢先生より「医療や福祉施設が無く10年後の心配があるが、サロン活動や体操など健康づくりに取り組み、努力されている住民の方の姿がある」とのコメントをいただき終了しました。</p>			



第 1 回 北灘地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 3 月 22 日 (水) 19:00 ~ 20:45		
テーマ	北灘地区らしさってなんだろう (北灘地区の魅力発見)		
会 場	北灘公民館	参加者数	24 名
<p>北 灘 は 最 高 !</p> <p>平日夜間にも関わらず、社協・自治振興会・総代会・民児協・婦人会・市民委員さん等の呼びかけに応え多くの方々にご参加くださいました。全体を 5 班に分け、各班とも和気あいあいの雰囲気の中、北灘の魅力についてグループワークを楽しみました。</p> <p>発表では、東西に長い北灘の地形から国道 11 号線の 16 km の海岸通りの景観や、美しい自然、おいしい農水産物、地域のつながりや住民活動、祭りなどの伝統や伝説といった魅力が再発見されることとなりました。</p> <p>また、自治振興会長さんによる地区の詳細な情報・取組み紹介もありました。</p> <p>市内でも過疎や高齢化の進行が心配される北灘ですが、次回以降も有意義な地域座談会が期待できるのではないのでしょうか。</p>			
			